

お手入れ/ディスクの取り扱い

故障かな!?

お手入れ

本機が汚れたら

乾いた柔らかい布で拭いてください。
化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

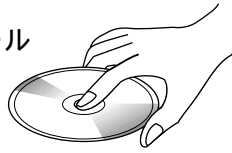
お手入れのお願い

ベンジン、シンナー類を使わないでください。
ケースや塗装が変質します。

ディスクの取り扱い

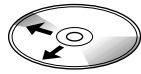
持ちかた

ディスクのセンターホール
と外周部分を持ちます。



ディスクが汚れたら

水を含ませた柔らかい
布で拭いたあと、矢印
方向に乾いた布で拭きます。



取り扱いのお願い

ディスクそのものの破損、および機器の故障の原因になることがありますので、次のことをお守りください。

- 記録面に手を触れない。
- ディスクが回転する方向に拭かない。
- ベンジン、シンナー、レコードクリーナー、静電防止剤で拭かない。
- ディスクを曲げない、キズを付けない。
- 鉛筆やボールペンなどで字を書かない。
- 紙やシールを貼らない。本機の中で引っかかり、故障の原因になります。
- 長時間直射日光の当たるところに置かない。(車のシート、ダッシュボードの上など)
- 湿気やゴミ・ほこりの多いところに置かない。
- 暖房器具の熱が直接当たるところに置かない。

長時間使用しないときは

必ず、本機から取り出してください。
ゴミ・ほこりなどの汚れやキズ・そりなどを避けるため、必ずケースに入れて保管してください。

⚠ 注意

特殊形状のディスクやディスクアクセサリーは使用しない



禁止

ハート型や八角形など特殊形状のディスクや、プロテクトフィルムやスタビライザーなどのディスクアクセサリーを使用すると、故障の原因になります。

この著作権保護技術の使用はマクロビジョン社の許可が必要で、また、マクロビジョン社の特別な許可がない限り家庭用およびその他の一部の鑑賞用の使用に制限されています。分解したり、改造することも禁じられています。

著作権について

ディスクを無断で複製、放送、公開演奏、レンタルすることは法律により禁じられています。本機は著作権保護技術を採用しており、マクロビジョン社およびその他の著作権者が保有する米国特許およびその他の知的財産権によって保護されています。

症状

チェック項目・処置

ページ

電源・共通

電源が入らない。

車のエンジンをかけてください。(「ACC」の位置でも可)
各コードの接続を確認してください。
ヒューズが切れている。
➡お買い上げの販売店、またはお近くの「ご相談窓口」(別紙)にヒューズの交換をご依頼ください。

10
32 ~ 35
-

音が出ない。

各コードの接続を確認してください。
結露している。
➡しばらく放置してからご使用ください。
接続されているオーディオ機器やスピーカーの配線を確認してください。

32 ~ 35
-
34 ~ 35

リモコン

ボタンを押しても動作しない。

電池の極性(⊕⊖)を確認してください。
電池が消耗している。
➡交換してください。
リモコン受光部に向けて操作してください。
無効操作である。

7
7
33
-

DVD ビデオ、ビデオ CD、音楽 CD

ディスクを入れても音が出ない。

ディスクを正しい面と向きで入れなおしてください。
ディスクの汚れをクリーニングしてください。
本機で再生可能なディスクが確認してください。

10
24
2

ディスクが出てこない。

ディスクの不良、またはメカの不良。
➡ふたを開けて、^(イジェクト) [▲] を押してください。
動作しないときは、リセットスイッチを押してください。
➡それでも正常に戻らないときは、お買い上げの販売店、またはお近くの「ご相談窓口」(別紙)に修理をご依頼ください。

10
28
-

音質が悪い、または音がとぶ。

ディスクの汚れをクリーニングしてください。
取り付け角度が 30° を超えている。
➡取り付け角度を 30° 以内にしてください。
取り付けが不安定。
➡取り付け金具などでしっかりと固定してください。

24
30
30 ~ 31